

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会（公民的分野）
----	-----------

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東 書	2	公民 002-92	新編 新しい社会 公民	・さまざまな視点から考察できる資料が豊富に掲載されており、「社会的な見方、考え方」の育成を意識した構成である。 ・さまざまな思考ツールの紹介があり、生徒が多様な考え方ができる工夫がなされている。 ・平和主義に関して中立的な立場から記述しているが、現況の問題点などには、あまり触れられていない。 ・昔の写真を多く使用しており、歴史との接続を意識した構成である。 ・デジタルコンテンツが充実している。 ・見開き2ページの1時間の授業で使用する単元タイトルの横の定位置に二次元コードあるので生徒にとってわかりやすく、活用がしやすい。 ・P60～61の「18歳でできることと20歳でできること」の比較がわかりやすい。 ・P47～48の自衛隊の記述は中立的な立場で記載されている。 ・導入で「探究課題」、展開で「探究のステップ」、そして学習のまとめとして「探究課題の解決」という流れで構成されている。 ・本文以外の資料の文字がやや小さく、文章量が多いため紙面全体の文字数がやや多い。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	1 7	公民 017-92	中学社会 公民 ともに生きる	・イラストは見やすいものが多く、資料もわかりやすいものが多い。 ・「合理的配慮」や「18歳選挙権」など、太字になっている語句が多い。 ・P54、P70 など、章の振り返りが統一して「持続可能な社会に向けて」となっており、考えている問題が SDGs をできる構成である。 ・見開き 2 ページの右側の下にも毎回 SDGs の 17 の目標のマークがあり、生徒が公民の学習の中で、SDGs を意識できるような構成となっている。 ・P89 にあるコラム「公民の窓」のように、詳しい内容の解説が随所で入っており、少し理解が難しい内容を補足し、わかりやすく解説するコーナーを設けており、生徒の理解を深める工夫がなされている。 ・P74～77 の憲法 9 条と自衛隊は中立的な立場で、やや分量も多く記載されている。 ・集団的自衛権についての記述がやや少ない。 ・デジタルコンテンツは、要所に設けられているが、全体的にはやや少ない。 ・「まなびリンク」の解説は、映像で理解を深めることができる内容である。 ・「まとめワーク」では記入式の問題が解けるようになっており、学習の定着度や生徒の考えを把握することができる。 ・見開き 2 ページの左側ページの下に「関連」という項目があり、小学校での学習との関連、歴史学習との関連がわかりやすい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
帝 国	4 6	公民 046-92	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	・兵庫県を題材にした資料が多く、生徒にとって地域を身近に感じやすい。 ・写真の使用に強弱があり、印象に残る写真を大きめに取り上げている。特に1時間の授業で使用する見開き2ページのレイアウトの左上に最も印象深い大きな写真が配置されており、授業の導入として1枚の写真から入っていくことができるので、文章を読むことが苦手な生徒にとっても興味をひきやすい。 ・導入時に写真を活用することで、生徒の多様な考えを引き出せる非定型の発問から授業を始めやすい構成にである。 ・ふりがなが多いが、行間も確保されているため読みやすい。 ・ページ右下の「確認しよう」「説明しよう」が毎回定位置にあり、言語活動を促し、授業のまとめをすることに適している。 ・P74～75の「みんなが暮らしやすい街をつくろう」やP116～117の「暮らしのなかから経済を探してみよう」のイラストマップ、P114の「若い世代の政治参加の重要性」の地図を使った地域分布など、地理との接続を意識している。 ・デジタルコンテンツがまとまった形で掲載されているが、生徒の興味・関心を高めるコンテンツはやや少ない。 ・P40～P41の平和主義についての単元では、中立的な立場で双方の意見を載せているが、記載されている分量がやや少ない。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
日 文	1 1 6	公民 116-92	中学社会 公民的分野	・デジタルコンテンツは動画や小テストがピンポイントで出てくるので扱いやすい。最初に出てくる項目の文字も大きく見やすい。 ・動画やワークシートなどコンテンツも豊富で、生徒にとって使いやすい。 ・資料の提示は見やすく、イラストもすっきりした構成になっている写真は全体的にやや少ない。 ・P74～77の平和主義の学習では、集団的自衛権を太字にしていることやロシアやウクライナ問題など最新の現況を捉えた内容を載せており、日本を取り巻く状況が理解しやすい。 ・自衛隊に関しては、中立的な立場からの記述である。 ・P57に点字が実際に打っており、指先で体感的に確認することができる工夫がされている。 ・P179にヤングケアラーの記述があり、現代の社会的問題を取りあげている。 ・P153 景気変動の学習で「公民＋α」の「江戸幕府が苦しんだインフレ」は歴史の学びと関連付けており、社会科的な見方や考え方の育成に効果的である。 ・P165に「2024年より使用が予定される新紙幣」の紹介がある。 ・グラフやイラストをもとに、「見方・考え方」を働かせる問いを投げかける「アクティビティ」のページやコーナーが設けられている。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
自由社	2 2 5	公民 225-92	新しい公民教科書	・尖閣諸島に関する記述が多く、日本の主張を丁寧に表現している。 ・多様性に関する記述がやや少ない。 ・P190～191に「日本人拉致問題」についての特集で2ページに亘って詳しく記載されており、「容易に日本に潜入できた北朝鮮工作員」や「レバノンは自力で取り戻した」というような見出しを使っている。 ・全体的に資料が少なく、デジタルコンテンツがないため、一人一台端末を活用した授業を展開しにくい。 ・P62の学習課題のところの文字が重なっている。 ・P40、P41のページの黄色が濃く、生徒にとってやや見づらい。 ・単元の番号が連続しており、憲法、政治、経済などのように区別がされていない。生徒によってはややわかりにくい。 ・P52、P53の「立憲主義の大切さについて考えよう」などのように、「600字程度でまとめよう」というページが大きく白紙になっている。自分の考えを書く力を評価できる反面、やや書き込みにくい紙面構成である。 ・P82～85に平和主義についての学習内容となっているが、P85の日米合同委員会の秘密会議のことなど、あまり公になっていない内容を中心に構成されており、興味を持つ生徒もいるが、やや難しい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
育鵬社	2 2 7	公民 227-92	新しいみんなの公民	・ P 45 の一番下の行に天皇の存在について「現代の立憲君主制のモデルの 1 つ」と記載されている。 ・ P 50～53 の平和主義では北朝鮮のミサイル発射や中国の軍事力増強に触れ、日本の防衛体制を整えることの重要性について大きく紙面を割いて記載されている。 ・ P 87 の世論についての内容で、従軍慰安婦に関する新聞報道に誤りがあったことなど、慰安婦に関する内容が記載されている。 ・ アメリカの軍事力の抑止力の上で平和が成り立っているという現状をもとにして、有事の際に備えることの必要性について、詳しく記載されている。 ・ デジタルコンテンツはNHKの動画へリンクしており、独自のコンテンツはない。 ・ P56～73 の基本的人権の学習では、資料が多く充実しており、生徒にわかりやすい内容である。 ・ 出てくるイラストキャラクターが詰め襟の学生服とセーラー服となっており、多様性の視点から配慮がやや見られない。 ・ P 187 に「北朝鮮による日本人拉致問題」というフレーズが太字で記述されている。 ・ P 150 の「日本銀行券」が旧紙幣のままで新紙幣の紹介がない。